

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校

12/9

第23号

文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

第4回 トーキン双ヶ丘

12月8日(木)に第4回トーキン双ヶ丘を実施しました。今回は、1・2年生が「部活動に思うこと」3年生が「進路について思うこと」をテーマにして発表してくれました。どの発表からも熱い思いが伝わってきました。「トーキン双ヶ丘」という行事のすばらしさを改めて感じました。

1年7組 男子

「卓球台に入って打っても、しんどさはかわりませんでした。でも同時に、楽しさが増えていき、部活動へのいやけが消えていきました。そして、今でも楽しく台に入って練習しています。」

※卓球部での活動が楽しく充実してきたことを伝えました。

2年3組 男子

「バスケットボール部副キャプテンになりました。……だから僕も、これだけは他の人に負けないと一つでも作ってチームに貢献したいと思います。」

※副キャプテンに選ばれたことの意味を1年間かけて見つけていこうという決意を述べました。

2年3組 女子

「部活動は続けることに意味があると思います。続けなければ何も得るものはないし、かといって中途半端に続けるだけでは何も残らない。……もう一つ、大切なのは楽しむことだと思います。」

※現在のワンダーフォーゲル部での様々な活動や大会をへて自然と目標ができたことを伝えました。

3年1組 男子

「すべてを投げ出したくなったり、受験という現実からどうしても逃げたくなる時がある。3年生はきっとみんな同じなんだろうと思う。でもだからこそ、みんなで一緒にがんばっていけるようなクラスや学年をつくっていけたらいいなと僕は思う。」

※笑顔で卒業式を迎えるようクラス、学年の団結を強めたいことを伝えました。

3年1組 女子

「自分の事よりも私に勉強を教えることを優先してくれて、いつもこんな私を気にかけて、助けてくれました。本当に、言葉に表せないぐらい感謝しています。いつもありがとうございます。そんなみんなの優しさを無駄にしたくないし、よい結果としてみんなに恩返ししたいです。」

※進路決定に向けて今までの自分を振り返り、足りなかった部分を努力したいことやみんなの支えへの感謝の気持ちを述べました。また、1・2年生への思いも伝えました。

(裏面に続きます)

3年6組 男子

「今の時点で将来への大体のプランはできています。こんなにうまくいくかどうかはわかりません。正直、自分でも分からぬことが多いけれど、自分が納得のいく、そして後悔しない進路を選んでいきたいと思います。」

※小学校から続けてきたサッカーへの思いや高校へ進学してもサッカーを続けるという決意を述べました。

